

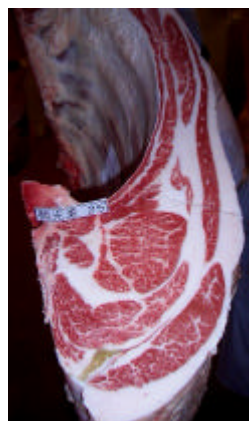
熊本県で開発した新技術

熊本県農業研究センター

褐毛和種種雄牛「鶴光重」の選抜



「鶴光重」



その産子の枝肉

問 研究のねらいは？

答 熊本県で昔から多く飼われている「肥後のあか牛」と呼ばれる褐毛和種の肉用牛について、交配による牛肉の生産性・品質向上を図るため、優秀な種雄牛を選抜しました。

問 優れている点は？

答

| 血統 | |
|---------------|------------------|
| 父 第三光重（繁殖29） | 祖父 光重ET（育高1） |
| | 祖母 くさふく（高3414） |
| 母 もりひさ（産肉261） | 祖父 第二重光（特級86） |
| | 祖母 しげもり（1級45853） |

「鶴光重」の特徴(間接検定成績による)は、次のとおりです。

- ① 1日当たり増体量(DG)が1.07kgと高く、枝肉重量は441.3kg(歴代9位)で、肉量が非常に優れています。
- ② ロース芯面積は57.7? (歴代1位)と極めて優れています。
- ③ 肉牛の品質の目安であるBMS値(脂肪交雑=霜降りの程度を示す指標)については、2.2と平均的な値を示します。

なお、フィールドデータによる脂肪交雑の遺伝的評価値(EPD)は+1.11と高く(評価した275頭中4位)、高い能力を有すると推測されます。